

令和7年

第3回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

令和7年第3回仙北市議会定例会 市政報告

令和7年第3回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、職員の逮捕事案についてです。

2月5日、建設部建設課の前主任が道路交通法違反の疑いで逮捕され、2月18日、職員事故等審査委員会を開催し、関係職員の処分等について協議を行いました。この報告を受け、同日、関係職員の懲戒処分等を発令しました。処分の内容は、同主任は懲戒免職処分、また、管理監督職員2人に対し厳重注意を行いました。

このような事案は、仙北市役所職員としてあってはならないものであり、大きく市民の信頼を失墜するものです。今後このような事件が起きないように綱紀肅正を徹底し、信頼回復に努めます。改めて深くお詫びを申し上げます。

次に、行財政改革についてです。

2月14日、総合政策審議会を開催し、令和7年度に策定を進める第3次仙北市総合計画のスケジュールや審議事項について議論を行いました。仙北市の将来を見据え、「幸福度全国 No.1」の達成を視野に入れた計画として着実に策定を進めてまいります。

次に、仙北市人口動態についてです。

1月31日現在の人口は2万2,806人で前年同月比580人減、世帯数は1万242世帯で前年同月比80世帯減となっております。今年度1月までの出生届出数は60人となっております。前年同時期の出生届出数は68人で、8人減という状況です。また、1月の転入は26人、転出は25人となっております。

次に、一般会計補正予算(第13号)についてです。

第13号の補正額は、3億9,307万5千円の追加で、補正後の額は257億6,024万8千円です。主な事業は、ふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業費、教育・保育施設給付費、水道事業会計補助金、病院事業会計補助金、農地集積加速化基盤整備事業費、農地中間管理機構関連ほ場整備事業費などです。

繰越明許費補正は追加、債務負担行為補正は追加及び変更、地方債補正は追加及び変更です。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇日本生命秋田支社との包括連携協定再締結について

2月21日、角館庁舎を会場に日本生命保険相互会社秋田支社との包括連携協定再締結式を行いました。同社とは、令和3年に協定を締結しましたが、連携事項に「ヘルスケア DX に関すること」を追加し、新たにPHR事業の普及促進を図る取組を展開します。

また、同社から企業版ふるさと納税をいただき「優しさにあふれ健やかに暮らせるまちづくり事業」及び「観光・国際交流・文化財の保護と活用・スポーツ振興の推進による幸福度No.1のまちづくり事業」に活用させていただく予定です。改めて御礼申し上げます。

◇雪害事故について

12月からの積雪の増加に伴い、12月23日から2月21日まで、市内で除雪作業中に10件の雪害人身事故が発生しました。骨折するなど7人の方が重傷となっております。今後もしばらくは積雪期が続くことから、LINE、安全安心メールで事故防止の注意喚起を継続します。

【企画部】

◇ふるさと納税について

能登半島の地震災害及び豪雨災害で深刻な被害を受けた石川県に代わり、返礼品なしの「災害代理寄附」を実施してまいりましたが、状況が落ち着きはじめた現状を踏まえ、代理寄附を終了し、最終的に確定した額を石川県へ送金することといたしました。事務経費を差し引いた送金金額は、約 5,900 万円となります。

ご支援いただいた皆様には、改めてこの場をお借りして感謝申し上げますとともに、被災された方々が一日も早く日常生活を完全に取り戻すよう心よりお祈り申し上げます。

◇アステリア株式会社との連携について

アステリア株式会社より、企業版ふるさと納税として100万円の寄附を賜りました。同社とは、平成28年4月に、「サクラの保全活動に関する協定」を締結しており、文化財に指定されていない桜の保全活動を行うために毎年100万円のご寄附をいただいています。

今後も連携を強化し、DX の推進や桜の保全をはじめとした多面的な取組をさらに拡充し、地域の発展と市民サービスの向上に努めてまいります。

◇インターナショナルスクール誘致について

2月8日から15日まで、ナイツブリッジハウスインターナショナルスクールの創設者であるジョン・フェアロン氏のご家族と仙北市を訪れ、市内の開校候補地や県内の大学へビジネスパートナーの皆様と共にご案内しました。また、12日、^{さたけのりひさ}佐竹敬久秋田県知事への表敬訪問を行っております。

14日、田沢湖庁舎を会場に学校設立に関する協定書調印式を執り行いました。この協定を機に、本市と学校がより一層協力を深め、学校の開設を起点とした地域の発展に向けて、今後ますます取組を強化してまいります。

【市民福祉部】

◇仙北市交通死亡事故ゼロ365日の達成について

2月12日、仙北市は交通死亡事故ゼロ365日を達成し、21日、交通安全市民大会において、秋田県警察本部長顕彰が伝達されました。これからも市民の皆様と一層の交通安全を心がけ、交通死亡事故ゼロを継続してまいります。

【観光文化スポーツ部】

◇令和6年入り込み客数について

令和6年1月から12月までの年間入り込み客数の速報値は389万人、宿泊者数は47万人となりました。また、外国人宿泊者数の速報値は昨年より1万8千人増の4万3千人、対前年比170%となりました。

今後も観光振興計画に基づき、観光客数の増加のみならず、稼げる観光地を目指します。

◇小正月行事等の状況について

令和7年の小正月行事等は「白岩城址^{とうかさい}燈火祭」、「上桧木内の紙風船上げ」、「角館の火振りかまくら」、「田沢湖高原雪まつり」、「中里のカンデッコあげ」、「なろか」など無事に実施されました。

好天に恵まれたことと、秋田県を挙げて実施している冬の大型観光キャンペーンの効果や、体験型コンテンツの造成により、多くの観光客からお越しいただきました。今後も切れ目のない宣伝活動を行いながら、仙北市をPRしてまいります。

◇伝統的建造物群基盤整備事業・文化財修理事業について

令和6年度の文化庁補助事業として、旧角小跡及び陶家板塀^{すえけいたべい}修景、また、石黒家主屋・土蔵^{おもや どぞう}修理事業の事業費補助など、全ての事業を完了しました。さらに、懸案となっていた旧松本家住宅の柴垣^{しばがきふくげん}復元設置等も完了し、令和7年度以降も、文化庁や県のご助力をいただ

きながら、計画的に修理・修景事業を行い、町並み保存に努めてまいります。

◇フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会について

2月8日、9日、たざわ湖スキー場を会場に、全日本スキー連盟 A級/B級公認の田沢湖開催として最後となる、2025 フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会が開催されました。

全国から男子61人、女子24人の選手が出場し、スピード感あふれるターンやハイレベルのエアに果敢に挑み、訪れた多くの観客が競技を楽しみました。